# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日


上場会社名　株式会社 東北銀行　　上場取引所　東
コード番号　8349　URL　http://www.tohoku-bank.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役頭取　(氏名) 浅沼　新
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長　(氏名) 澤瀬　忍　TEL 019-651-6161

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日　特定取引勘定設置の有無　無
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 4,031 | △4.1 | 534 | 70.7 | 320 | 66.0 |
| 23年3月期第1四半期 | 4,202 | △0.3 | 313 | ― | 193 | ― |

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　376百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△130百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | 3.38 | ― |
| 23年3月期第1四半期 | 2.03 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 748,910 | 19,506 | 2.4 |
| 23年3月期 | 681,987 | 19,368 | 2.7 |

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　18,282百万円　23年3月期　18,109百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | ― | 2.50 | ― | 2.50 | 5.00 |
| 24年3月期 | ― | | | | |
| 24年3月期(予想) | | 2.50 | ― | 2.50 | 5.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 7,500 | △10.8 | 550 | △35.9 | 350 | △16.5 | 3.69 |
| 通期 | 15,200 | △4.7 | 1,200 | △19.0 | 750 | ― | 7.91 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期1Q | 95,099,631 株 | 23年3月期 | 95,099,631 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期1Q | 316,536 株 | 23年3月期 | 315,226 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期1Q | 94,783,713 株 | 23年3月期1Q | 94,797,450 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
（４）追加情報 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6
４．補足情報 …… 7
（１）損益状況（単体） …… 7
（２）「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」（単体） …… 8
（３）自己資本比率（国内基準） …… 8
（４）時価のある有価証券の評価差額（連結） …… 9
（５）預金等（単体） …… 9
（６）貸出金（単体） …… 10
（７）預かり資産残高（単体） …… 10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の損益状況につきましては、経常収益は前年同期比１億71百万円減少し40億31百万円となりました。主な要因としては資金運用利回りの低下に伴う利息収入の落ち込みや、預り資産販売手数料等の役務収入の減少によるものです。

経常費用につきましては同３億92百万円減少し34億97百万円となりました。主な要因として貸倒引当金が戻入となったことや設備投資等の抑制による減価償却費を含む経費の節減に努めたことによるものです。

以上の結果、経常利益は同２億21百万円増加し５億34百万円となりました。また、四半期純利益は同１億27百万円増加し３億20百万円となりました。

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、預金等（譲渡性預金を含む）は、個人預金が前連結会計年度末比200億90百万円増加となるなど好調に推移したことから全体で同413億52百万円増加し6,852億80百万円となりました。

貸出金は、地方公共団体向け貸出が同26億92百万円増加し576億55百万円となったことを主な要因として、全体で同21億36百万円増加し4,580億11百万円となりました。

有価証券は、預金が好調に推移したことによる運用先として債券の保有残高を増額したことにより、同355億１百万円増加し1,919億56百万円となりました。

### （３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年５月24日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

### （１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### （４）追加情報

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月４日）を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当第１四半期連結累計期間の「貸倒引当金戻入益」及び「償却債権取立益」は、「その他経常収益」に計上しておりますが、前第１四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 現金預け金 | 51,134 | 16,313 |
| コールローン及び買入手形 | － | 63,200 |
| 商品有価証券 | 16 | 20 |
| 有価証券 | 156,455 | 191,956 |
| 貸出金 | 455,875 | 458,011 |
| 外国為替 | 805 | 870 |
| その他資産 | 6,351 | 7,305 |
| 有形固定資産 | 9,711 | 9,866 |
| 無形固定資産 | 542 | 490 |
| 繰延税金資産 | 6,122 | 5,823 |
| 支払承諾見返 | 4,838 | 4,890 |
| 貸倒引当金 | △9,866 | △9,838 |
| 資産の部合計 | 681,987 | 748,910 |
| 負債の部 | | |
| 預金 | 630,396 | 676,289 |
| 譲渡性預金 | 13,531 | 8,991 |
| 借用金 | 5,296 | 10,568 |
| 社債 | 1,200 | 1,200 |
| その他負債 | 3,495 | 23,654 |
| 退職給付引当金 | 2,253 | 2,217 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 12 | 12 |
| 偶発損失引当金 | 277 | 286 |
| 災害損失引当金 | 72 | 52 |
| ポイント引当金 | 20 | 17 |
| 利息返還損失引当金 | 37 | 37 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,186 | 1,186 |
| 支払承諾 | 4,838 | 4,890 |
| 負債の部合計 | 662,618 | 729,404 |
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 8,233 | 8,233 |
| 資本剰余金 | 6,159 | 6,159 |
| 利益剰余金 | 4,984 | 5,067 |
| 自己株式 | △62 | △63 |
| 株主資本合計 | 19,314 | 19,397 |
| その他有価証券評価差額金 | △2,733 | △2,643 |
| 土地再評価差額金 | 1,528 | 1,528 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,205 | △1,115 |
| 少数株主持分 | 1,259 | 1,224 |
| 純資産の部合計 | 19,368 | 19,506 |
| 負債及び純資産の部合計 | 681,987 | 748,910 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 経常収益 | 4,202 | 4,031 |
| 資金運用収益 | 2,841 | 2,643 |
| （うち貸出金利息） | 2,496 | 2,329 |
| （うち有価証券利息配当金） | 326 | 298 |
| 役務取引等収益 | 613 | 529 |
| その他業務収益 | 720 | 692 |
| その他経常収益 | 27 | 166 |
| 経常費用 | 3,889 | 3,497 |
| 資金調達費用 | 254 | 177 |
| （うち預金利息） | 194 | 119 |
| 役務取引等費用 | 223 | 206 |
| その他業務費用 | 385 | 347 |
| 営業経費 | 2,542 | 2,426 |
| その他経常費用 | 483 | 339 |
| 経常利益 | 313 | 534 |
| 特別利益 | 11 | 5 |
| 償却債権取立益 | 11 | |
| 固定資産処分益 | － | 5 |
| 特別損失 | 24 | 14 |
| 固定資産処分損 | 24 | 2 |
| 災害による損失 | － | 12 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 299 | 524 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 252 | 2 |
| 法人税等調整額 | △113 | 235 |
| 法人税等合計 | 139 | 237 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 160 | 287 |
| 少数株主損失（△） | △32 | △33 |
| 四半期純利益 | 193 | 320 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 160 | 287 |
| その他の包括利益 | △290 | 89 |
| その他有価証券評価差額金 | △290 | 89 |
| 四半期包括利益 | △130 | 376 |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △97 | 410 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △32 | △33 |

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．補足情報

**（１）損益状況（単体）**

（記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております）

当第１四半期累計期間の経常収益は、資金運用利回の低下に伴い利息収入が減少したこと等により35億24百万円となりました。経常利益は、与信関係費用の戻入等により４億12百万円となりました。四半期純利益は２億84百万円となりました。

（単位：百万円）

| | 平成24年3月期 第１四半期 (A) | 前年同四半期比 (A)－(B) | 平成23年3月期 第１四半期 (B) | 平成24年3月期 第２四半期累計期間 業績予想 |
|---|---|---|---|---|
| 経常収益 | 3,524 | △ 166 | 3,690 | 6,500 |
| 業務粗利益 | 2,996 | △ 176 | 3,172 | |
| （除く国債等債券損益） | 2,685 | △ 188 | 2,873 | |
| 資金利益 | 2,451 | △ 114 | 2,565 | |
| 役務取引等利益 | 232 | △ 73 | 305 | |
| その他業務利益 | 312 | 11 | 301 | |
| ①（うち国債等債券損益） | 310 | 11 | 299 | |
| 経費（除く臨時処理分） | 2,322 | △ 102 | 2,424 | |
| 人件費 | 1,204 | 3 | 1,201 | |
| 物件費 | 998 | △ 84 | 1,082 | |
| 税金 | 120 | △ 21 | 141 | |
| ②業務純益（一般貸倒引当金繰入前） | 673 | △ 74 | 747 | |
| コア業務純益（②－①） | 363 | △ 85 | 448 | |
| ③一般貸倒引当金繰入額 | △ 17 | 38 | △ 55 | |
| 業務純益 | 691 | △ 111 | 802 | |
| 臨時損益 | △ 278 | 307 | △ 585 | |
| ④不良債権処理額 | 135 | △ 459 | 594 | |
| 貸出金償却 | － | － | － | |
| 個別貸倒引当金繰入額 | 88 | △ 463 | 551 | |
| 延滞債権等売却損 | － | － | － | |
| 偶発損失引当金繰入額 | 8 | △ 17 | 25 | |
| 責任共有制度負担金 | 37 | 20 | 17 | |
| （貸倒償却引当費用③＋④） | 117 | △ 422 | 539 | |
| 株式等関係損益 | △ 281 | △ 268 | △ 13 | |
| 株式等売却益 | 7 | 1 | 6 | |
| 株式等売却損 | 288 | 288 | － | |
| 株式等償却 | － | △ 19 | 19 | |
| 貸倒引当金戻入益 | － | － | － | |
| 償却債権取立益 | 123 | 123 | － | |
| その他臨時損益 | 14 | △ 8 | 22 | |
| 経常利益 | 412 | 195 | 217 | 550 |
| 特別損益 | △ 9 | 4 | △ 13 | |
| うち固定資産処分損益 | 2 | 26 | △ 24 | |
| 固定資産処分益 | 5 | 5 | － | |
| 固定資産処分損 | 2 | △ 22 | 24 | |
| うち災害による損失 | 12 | 12 | － | |
| 税引前四半期純利益 | 403 | 200 | 203 | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 0 | △ 245 | 245 | |
| 法人税等調整額 | 118 | 291 | △ 173 | |
| 法人税等合計 | 118 | 47 | 71 | |
| 四半期（中間）純利益 | 284 | 153 | 131 | 300 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 与信関係費用（△は戻入益） | △ 5 | △ 533 | 528 |

（注）１．決算計数の一部は、簡便な手続を採用して算出しております。
２．平成24年３月期第１四半期より貸倒引当金戻入益及び償却債権取立益は臨時損益に計上しております。
３．与信関係費用＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益
４．平成23年３月期第１四半期の償却債権取立益は10百万円であります。

## （2）「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」（単体）

金融再生法ベースの開示債権は東日本大震災の影響により平成22年６月末比88億52百万円増加し261億31百万円となりました。総与信額に占める開示債権比率は同1.80ポイント上昇し5.59%となりました。

（単位：百万円）　（参考）（単位：百万円）

| | 平成23年６月末 (A) | 比較（A）－（B） | 平成22年６月末 (B) | 平成23年３月末 |
|---|---|---|---|---|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 8,128 | △1,587 | 9,715 | 8,706 |
| 危険債権 | 16,915 | 10,532 | 6,383 | 16,374 |
| 要管理債権 | 1,086 | △95 | 1,181 | 840 |
| 小　　計（A） | 26,131 | 8,852 | 17,279 | 25,921 |
| 正常債権 | 440,581 | 2,352 | 438,229 | 438,507 |
| 合　　計（B） | 466,713 | 11,204 | 455,509 | 464,429 |
| | | | （単位：%） | （単位：%） |
| 開示債権比率（A）／（B） | 5.59 | 1.80 | 3.79 | 5.58 |

（注）１．上記の平成23年６月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、当行の定める自己査定基準に基づいた平成23年６月末時点の債務者区分による残高であります。

２．当行は部分直接償却を実施しております。

※債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
危険債権　（破綻懸念先の債権）
要管理債権（要注意先のうち、元本又は利息の支払いが３ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権）

## （3）自己資本比率（国内基準）

自己資本比率は国内基準を採用しております。単体で平成23年３月末比0.22ポイント上昇し9.28%、連結で同0.23ポイント上昇し9.92%となりました。

**（単体）**　（単位：百万円）　（参考）（単位：百万円）

| | 平成23年６月末（速報値） | 平成23年３月末（実績） |
|---|---|---|
| （1）自己資本比率 | 9.28% | 9.06% |
| （2）基本的項目比率 | 6.17% | 5.99% |
| （3）自己資本の額 | 27,746 | 27,491 |
| （4）基本的項目の額 | 18,457 | 18,173 |
| （5）総所要自己資本額 | 11,947 | 12,133 |

**（連結）**　（単位：百万円）　（参考）（単位：百万円）

| | 平成23年６月末（速報値） | 平成23年３月末（実績） |
|---|---|---|
| （1）自己資本比率 | 9.92% | 9.69% |
| （2）基本的項目比率 | 6.84% | 6.64% |
| （3）自己資本の額 | 29,927 | 29,671 |
| （4）基本的項目の額 | 20,621 | 20,336 |
| （5）総所要自己資本額 | 12,058 | 12,242 |

（注）１．「自己資本比率（国内基準）」は、「銀行法第14条の２の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第19号）」に基づき算出しております。

２．リスク・アセット等算出において、信用リスクについては「標準的手法」、オペレーショナル・リスクについては「基礎的手法」をそれぞれ採用しております。

３．総所要自己資本額は、リスク・アセット等に４%を乗じた額であります。

### （4）時価のある有価証券の評価差額（連結）

時価のあるその他有価証券の評価差額は44億22百万円の評価損となりました。

○評価差額

（単位：百万円）

| | | 平成23年6月末 | | | | 平成22年6月末 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 時価 | 評価差額 | | | 時価 | 評価差額 | | |
| | | | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 |
| その他有価証券 | | 180,706 | △4,422 | 880 | 5,302 | 136,536 | △3,827 | 1,411 | 5,238 |
| | 株式 | 3,888 | △1,577 | 94 | 1,672 | 4,470 | △1,875 | 75 | 1,951 |
| | 債券 | 161,818 | 242 | 733 | 491 | 111,982 | 1,199 | 1,234 | 35 |
| | その他 | 15,000 | △3,086 | 51 | 3,138 | 20,083 | △3,150 | 101 | 3,252 |

（参考） （単位：百万円）

| 平成23年3月末 | | | |
|---|---|---|---|
| 時価 | 評価差額 | | |
| | | うち益 | うち損 |
| 149,115 | △4,574 | 1,095 | 5,670 |
| 4,237 | △1,718 | 93 | 1,812 |
| 127,306 | 129 | 863 | 733 |
| 17,571 | △2,986 | 138 | 3,125 |

（注）１．各第１四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、それぞれ各第１四半期末の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後。）と時価との差額を計上しております。

２．変動利付国債の時価については、昨今の市場環境を踏まえた検討の結果、引続き市場価格を時価とみなせない状態にあると判断し、合理的に算定された価額をもって時価としております。これにより、市場価格をもって時価とした場合に比べ、当第１四半期連結会計期間末の「有価証券」は570百万円増加、「繰延税金資産」は230百万円減少、「その他有価証券評価差額金」は340百万円増加しております。

３．なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。また、時価のある子会社・関連会社株式はありません。

（単位：百万円）

| | 平成23年6月末 | | | | 平成22年6月末 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 帳簿価額 | 含み損益 | | | 帳簿価額 | 含み損益 | | |
| | | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 |
| 満期保有目的の債券 | 10,415 | 182 | 213 | 31 | 6,707 | 209 | 231 | 22 |

（参考） （単位：百万円）

| 平成23年3月末 | | | |
|---|---|---|---|
| 帳簿価額 | 含み損益 | | |
| | | うち益 | うち損 |
| 6,504 | 119 | 203 | 4 |

### （5）預金等（単体）

預金等残高は平成22年6月末比455億88百万円増加し6,874億45百万円となりました。
なかでも、個人預金は同240億64百万円増加しております。

○預金等の残高（末残）

（単位：百万円）

| | 平成23年6月末 | 平成22年6月末比 | 平成22年6月末 |
|---|---|---|---|
| 預金等 | 687,445 | 45,588 | 641,857 |
| うち個人預金 | 475,277 | 24,064 | 451,213 |
| うち法人預金 | 185,153 | 13,209 | 171,944 |
| うち公金預金 | 27,014 | 8,315 | 18,699 |

（参考） （単位：百万円）

| 平成23年3月末 |
|---|
| 646,168 |
| 455,187 |
| 174,461 |
| 16,519 |

（注）預金等＝預金＋譲渡性預金

### （6）貸出金（単体）

中小企業向け貸出に引続き注力した結果、中小企業向けの事業性貸出は平成22年６月末比92億53百万円増加し2,477億80百万円となりました。

①貸出金の残高（末残）

（単位：百万円）　（参考）（単位：百万円）

| | 平成23年６月末 | 平成22年６月末比 | 平成22年６月末 | 平成23年３月末 |
|---|---|---|---|---|
| 貸出金 | 460,551 | 11,475 | 449,076 | 458,373 |
| うち中小企業等向け貸出 | 350,889 | 4,999 | 345,890 | 353,844 |
| うち事業性貸出 | 247,780 | 9,253 | 238,527 | 249,248 |
| うち消費者ローン | 92,990 | △2,420 | 95,410 | 93,858 |
| うち住宅ローン | 86,476 | △1,730 | 88,206 | 87,130 |
| うち地方公共団体向け貸出 | 57,655 | 5,783 | 51,872 | 54,963 |

②中小企業等貸出金比率

（単位：%）　（参考）　（単位：%）

| | 平成23年６月末 | 平成22年６月末比 | 平成22年６月末 | 平成23年３月末 |
|---|---|---|---|---|
| 中小企業等貸出金比率 | 76.19 | △0.83 | 77.02 | 77.20 |

### （7）預り資産残高（単体）

預り資産残高は平成22年６月末比59億38百万円増加し685億97百万円となりました。

（単位：百万円）　（参考）（単位：百万円）

| | 平成23年６月末 | 平成22年６月末比 | 平成22年６月末 | 平成23年３月末 |
|---|---|---|---|---|
| 投資信託 | 15,973 | △388 | 16,361 | 15,981 |
| 公共債 | 10,306 | △1,277 | 11,583 | 10,619 |
| 保険商品 | 42,318 | 7,603 | 34,715 | 41,056 |
| 合計 | 68,597 | 5,938 | 62,659 | 67,656 |

（注）保険商品は販売額の累計です。

以　上